



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENT'S

●表紙	1	●ガバナー補佐 ご挨拶	6
●柳谷ガバナー メッセージ	2	●ガバナー・地区役員・地区委員長 ご紹介	7
●国際ロータリー会長 メッセージ	3	●7月のRIレポート、柳谷ガバナーからの回答、	
●直前ガバナー メッセージ	4	ファイヤーサイド・ミーティングについて、文庫通信	8
●ガバナー補佐 ご挨拶	5		



国際ロータリー第2540地区
ガバナー 柳谷悦磨

〒016-0825 秋田県能代市柳町9-23 プラザ都内
TEL.0185-74-8586 FAX.0185-54-5060



新年度に向けて

2017-2018年度RI会長イアン・ライズリー氏のテーマ「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」(ロータリー: 変化をもたらす)の元、新年度が始まりました。皆さんのクラブにおきましても新会長・幹事を先頭にスタートされたことと思いません。

私は「ロータリーの未来に向けて～私にできること クラブにできること～」を地区の指針といたしました。ロータリーは自他共に(有益な)変化を促すものです。そのために私(個人)と皆(クラブ)で何ができるかを考え、実践していきたいものです。

重点項目として、次の3点を特に皆様にご協力をお願いします。

①2540地区は会員数1100名以上をキープすることが地区存続の絶対条件です。現在のところ各クラブの努力によりキープできておりますが、今年度も会員数51名以上のクラブは純増2名、50名以下のクラブは純増1名を目標をお願いします。

②昨年度はロータリー財団100周年を記念し、3月の合同IMでロータリー平和フェロー 金子由佳氏の講演をいただき、財団の活動について多くの皆様に深くご理解をいただきました。これにつきましても引き続き、1人100ドル以上のご寄付をお願いします。

③今年度はロータリー米山記念奨学会設立50周年です。7月の合同セミナーにおいて東京米山友愛ロータリークラブ特別代表の関博子氏と米山学友のコイララ アシュマ氏に講演をいただき、奨学金への一層のご協力をお願いしたいと思っております。現在、当地区では7名の留学生へ助成を行っておりますが、今後ひとりでも増やしたいものです。

地区方針は1.クラブのサポートと強化 2.人道的奉仕の重点化と増加 3.ロータリー公共イメージと認知度の向上といたしました。

これらの事業を推進していただき、その結果がRI会長賞につながるものと思います。各クラブの歴史と伝統を踏まえつつ、クラブの未来に向けて実施可能な項目を選択し、「私にできること クラブにできること」に取り組んでください。

私はガバナーノミニーに指名をいただいてから様々なセミナーや地区行事、クラブ周年事業、国際協議会(サンディエゴ)、国際大会(アトランタ)に参加させていただき、私の中のロータリーが一気に広がりました。

ロータリーは世界で日本で、それぞれの地区、クラブに地域性や課題があり、活動に取り組んでいることを実感しました。

会員数・寄付額は大切なことですが、それ自体が目的ではありません。ロータリーの「親睦と奉仕」を実践するための私たち共通の手段です。私たちや私たちのクラブが、真のロータリアン、真のロータリークラブになることが目標です。

地区として少しでも皆様のサポートができればと思っております。

目標に向かって1年間、宜しくお願いいたします。



2017-2018年度ガバナー

Yanagiya Etsumaro

柳谷悦磨

ロータリアンの皆さまへ



ロータリーに入会する理由は、ロータリアンの数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれせん。しかし私たちはそれぞれ、入会してから生活の中

で何かが変わったと感じるからこそ、ロータリーにとどまっているのでしょう。ロータリーを通じて私たちは、「変化をもたらして」います。ロータリーに積極的に参加すればするほど、私たち一人ひとりにも変化がもたらされます。ロータリーは私たちに、もっと良い人間となり、もっと意欲的に、高い目標に向かって努力し、毎日の生活に「超私の奉仕」を取り入れるよう、常に銘記させてくれます。

ロータリークラブやロータリアン一人ひとりが、奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決めることです。私たちはひとつの組織として、理事会が戦略計画の中で決定した3つの戦略的優先項目、すなわち「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を指針として行動します。

まずクラブのサポートについては、今後1年間にオンラインツールが大幅に改善されます。たとえば、Rotary.orgは一新され、ロータリー財団への補助金申請手続きがシンプルになり、My ROTARYの使い勝手がよくなり、ロータリークラブ・セントラルの構成が変わります。クラブの強化にあたって特に大きな課題は、会員の男女バランスと平均年齢の二つです。今後も強いクラブであり続けるには、地域社会を映し出すような会員構成とし、次世代のために知識豊富なリーダー

を育成し続ける必要があります。

長年にわたり、私たちの奉仕活動すべての根幹に関わってきた問題があります。それは、持続可能性です。持続可能な奉仕とは、ロータリーによる直接参加が終わった後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。たとえば、ただ井戸を掘っただけで立ち去るのではなく、村人たちが井戸の手入れと修繕をできるようにしなければなりません。病院を建てたなら、ロータリーからの支援がなくても経営を続けられる方法を、きちんと確立しなければなりません。ポリオについて言えば、私たちの活動が目指すのは、ウイルスの単なる抑止ではなく、「撲滅」です。

ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の、いわば究極的なかたちです。その活動資金を支援することで、私たちは全世界の人びとに、長期的どころか永続的な恩恵をもたらすでしょう。この活動が完了するまでは、最優先としていかなければなりません。

112年にわたってロータリーは、計り知れないほど多くの人に多くの方法で変化をもたらしてきました。初代会長ポール・ハリスの掲げた小さなたいまつを、世代から世代へと引き継いで「変化をもたらす」ながら、今私たちはここにいるのです。

2017-2018年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

いよいよ新しい年度である2017-2018年度がスタートいたします。2016-2017年度は地区役員の皆様をはじめ、ガバナー補佐、各クラブの会長、幹事の方々には一年間本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。

さて、会員維持、財団寄付、米山記念奨学会寄付等は年頭からの目標をほぼ達成できそうな状況のようでほっとしているところでございます。

会員数の維持につきましては、少子高齢化に歯止めがかからない状況が続く中では、この先、何年かは維持できても、従来の発想を変えない限り、必ずや行き詰まると思われます。ただ、大胆な発想の転換と言っても簡単にできるものではありません。一年間、ガバナーを務めて考えてきた中で、各分区に新たなクラブを一つずつ設立するしか、会員を維持する方法はないのではないかとの思いに至りました。例えば、例会は月2回に限定し、年会費も安く設定することで、若年層や女性も入会しやすく、さらにはリタイア会員も再入会しやすくする。そんな新しい形のクラブを国内に先駆けてつくることを検討してみてはいかがでしょうか。

ロータリー財団100周年に当たっては、皆さまに対して機会あるごとに財団の意識というべき事柄などをお伝えしてきたつもりですが、まだ不十分な点もあったことと思います。また、地区のすべてのクラブから財団へのご寄付をいただきまし

た。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

さらに、私が提唱いたしましたポリオ撲滅運動への募金活動にも大変なご協力をいただきました。集まった募金額もさることながら、ロータリーの団結力を再認識できました。また、ロータリーの活動やポリオ撲滅運動に対する一般の方々のご理解も深まったと感じています。

次年度は、米山記念奨学会50周年の記念の年でもあります。より一層のご理解とご支援の進展を願っております。

私ども2540地区には多くの課題が残されております。地区内のロータリアンがその課題に関心を持ち、自分の事として考えていただくことを願います。

最後に、一年間地区内の皆様からいただきましたご支援に心より御礼申し上げます。

2017-2018年度は柳谷悦磨ガバナーのもと、2540地区の活動が益々発展する事をお祈りして、直前ガバナーのメッセージといたします。



2016-2017年度ガバナー

Hirasawa Takao

平澤孝夫

北区（大館・鹿角分区）

大館中央RC 秋本 守正

大館・北秋・鹿角分区担当の秋本です。男性の平均寿命を越えた後期高齢者の私に、こんな大役が務まるだろうかと少し心配しております。何しろ、心身ともに昭和時代のアナログ思考で、現在のロータリークラブ・セントラル等というものには全く手も足も出ない状態です。ただ、当クラブの事務員はとても優秀で全幅の信頼がおけるので、何とかその助けを借りて対応していけるかなと思っています。また、「市外へ出かける時にはクラブの責任で送迎してあげるから心配するな」

という会員の言葉に励まされてこの役を引き受けた次第です。それでも役を引き受けた以上、柳谷ガバナーと担当クラブの連絡係として、その務めを全力で全う出来るように努力します。ロータリアンの3大義務「①会費の納入②例会の出席③ロータリーの友の購読」ですが、例会の開催回数に変化がありますと、10年、20年連続100%出席表彰に問題ありです。4つのテストをいま一度読み直してみたいと思います。

北区（能代・男鹿分区）

能代白神RC 大高 光晴

このほどガバナー補佐をやらせて頂く事になりました大高でございます。まず初めに私の仕事は柳谷ガバナーの目標を達成させるお手伝いをすることです。柳谷ガバナーの地区方針にある3項目について実行します。

- 1.クラブのサポートと強化
- 2.人道的奉仕の重点化と増加
- 3.ロータリー公共イメージと認知度の向上

また、ガバナー補佐の責務とは能代・男鹿9ク

ラブの目標達成の進捗状況の評価、クラブの諸問題の解決方法とクラブの活動状況の記録を行う事となっています。

今年度RI会長テーマは「変化をもたらす」であります。変化を恐れず、皆さん前進していきましょう。

この一年間は柳谷ガバナーはじめ塚本地区幹事、各クラブ会長・幹事さんと共に楽しく努力していきたいと思っています。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

中区（秋田分区）

秋田南RC 村上 康継

1994年秋田南RCに入会し23年、当クラブから過去数人の先輩がガバナー補佐（分区代理）を務めていたのを見て、あー大変だなと他人事みたいに見ていました。

今回、クラブ現会長・直前会長の二人から説得され、入会時より繰り返し叩き込まれた

「ロータリーは頼まれたら断ってはいけない」の精神で引き受けました。

前任のガバナー補佐からはガバナーが違うので

「引き継ぎはいいさいありません」とのこと、なぜか妙に納得してしまいました。

2017-2018年度柳谷ガバナーと秋田分区内7ロータリーのバイブ役に徹し来年6月の任期満了時には、やって良かったと言えるように努めて行きたいと思っています。

その為にはやはり秋田市内7クラブの強力なご支援・ご協力を頂くのが不可欠になります。一年間宜しくお願い致します。

中区（本荘・由利分区）

本荘東RC 池田 俊郎

ロータリアンのキャリアは2009年入会の八年目と短いけれど、年齢的には70歳目前と丁度良いのかと思いガバナー補佐を自ら引き受けました。ガバナー事務所の能代は本荘から遠いけれども慣れてしまえば苦にもなくなりました。地区役員の皆さんの丁重なる持て成しに心身共に溶け込むことが出来、また役目も少しずつ理解できるようになり、充実した日々を送っています。今

年度は中区のIM担当ということで先日1回目の会長・幹事会議を開き、本荘由利一丸となって頑張らしましょうと話しました。これからガバナー公式訪問という補佐の主たる任務が始まりますが、精一杯周りに迷惑をかけないように務め上げたいと思っています。まずは勉強と努力です。

南区（大曲・仙北分区）

大曲中央RC 富樫 龍紀

2017-2018年度柳谷ガバナーより南地区ガバナー補佐の委嘱を受け、その責任の重さに不安と緊張でいっぱいであります。

柳谷ガバナーの地区方針であります『ロータリーの未来に向けて～私のできること クラブにできること～各クラブの自主性等を尊重しながらパイプ役として責務を果たしたいと思えます。

会員皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。

南区（横手・湯沢分区）

湯沢南RC 宮原 保夫

この度、南区（横手・湯沢）を担当する事になりましたガバナー補佐の宮原でございます。宜しくお願いいたします。

ロータリークラブには1990年に入会させていただき足掛け27年になりますが、「井の中の蛙」でクラブ内の役職しか経験が無く、補佐をお引受けしてから研修を重ねる毎にその重責に押し潰れそうになっているのが実のところ。担当する横手・湯沢7クラブの会員の皆さまには7月

11日の横手南ロータリークラブ様の事前訪問を皮切りに順次、ガバナー訪問の1～2週間前を基準にクラブ事前訪問させていただきますので、宜しくお願いいたします。

折角ですので年度内に再訪問させていただいて、楽しみながら友情を温めたいと思っております。どうぞ、その機会が訪れましたらご指導ご鞭撻も併せて、宜しくお願いいたします。



ガバナー
柳谷 悦磨



地区幹事
塚本 真一



地区会計長
島崎 博人



地区財務委員長
中田 雅俊



会員拡大増強委員長
大塚 勝栄



広報委員長
成田 繁穂



職業奉仕委員長
大谷 直子



社会奉仕委員長
安岡 明雄



国際奉仕委員長
宮腰 一也



インターアクト・ローターアクト委員長
花岡 要介



青少年交換プログラム委員長
淳城 英夫



ロータリーの友委員長
村越 正道



地区大会委員長
佐々木勝美



ロータリー財団委員長
玉木 修



ロータリー米山記念奨学委員長
阿部 大助



ロータリー学友委員長
土田 博美



RI 国際大会推進委員長
広幡 信悦

柳谷ガバナーからの回答

地区研修・協議会・第1分科会で質問となった件

質問

「ファイヤーサイド・ミーティング (Fire-Side Meeting)」と「Informal Meeting」のどちらが正しい使い方? という質問をいただきました。

炉辺談話、通称「炉辺会合」とも言われたこの集いは、名称に「座談会」「家庭集会」「情報集会」 Informal (Discussion) Meeting という表現も、現在、言葉そのものは「手続要覧」に見られないが、実態として、クラブによってさまざまな名称で集会が行われている。

『ロータリー情報ハンドブック』2014.5発行
発行者 ロータリー情報研究会 によります。

文庫通信358号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の文献から

- ◎「ロータリー概論-ロータリー史からみた奉仕の理想」 あわじ中央R.C. 2002 167p
- ◎「ロータリーエッセイ-英米史の中でのポール P.ハリス考」 矢作好英 2009 27p
- ◎「ロータリーの基本~研修の手引き」 本田博己 2012 40p
- ◎「全く私(わたくし)的なロータリーの記録」 井原俊彦〔2015〕 83p
- ◎「職業奉仕を学ぶ」 D.2680〔2015〕 108p
- ◎「クラブ会長スピーチ集」 D.2650 2016 94p
- ◎「『ロータリーの真髄』~変えてはいけないロータリー」 深川純一 D.2510 IM実行委員会 2017 31p
〔上記申込先:ロータリー文庫〕
- ◎「世界でよいことをしよう:ロータリー財団百年誌」 デイビッド C.フォワード R.I. 2015 296p
〔申込先:国際ロータリー日本事務局 FAX(03)5439-0405〕
- ◎「ロータリー入門書2017~2018年度版」 前原勝樹・重田政信・渡辺好政 2017 227p
〔申込先:北斗事業出版 TEL(03)5207-6681〕
- ◎「ロータリー財団ハンドブック」 D.2750 2017 112p
〔申込先:D.2750 FAX(03)5472-2750〕